

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : CRプライマーE-6000
推奨用途 : 業務用
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと
会社名 : ダイセルミライズ株式会社
担当部門 : 産業資材営業部(大阪支店)
本社住所 : 〒108-8231 東京都港区港南 2-18-1 JR 品川イーストビル
電話 : 03-6711-8513
FAX : 03-6711-8516
大阪支店 : 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB
電話 : 06-7639-7471
FAX : 06-7639-7477
緊急時の連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(吸入):区分 3

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2

発がん性:区分 2

生殖毒性:区分 1A

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響:追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 2

水生環境有害性 長期(慢性):区分 3

(注)記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有毒

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

授乳中の子に害を及ぼすおそれ

臓器の障害

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 指定された個人用保護具を使用すること。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。
 特別な処置が必要である。
 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
 医師に連絡すること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
 施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の健康有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
 イソシアネートを含有するため、蒸気、ミストを吸入すると健康障害を起こす恐れがある。

特定の物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化管法(令和5年3月31日まで有効)政令番号	化管法(令和5年4月1日施行)管理番号	化審法番号
キシレン(異性体混合物)	4.1	1330-20-7	1-080	管理番号80	3-3; 3-60
トリレンジイソシアネート	0.8	26471-62-5	1-298	管理番号298	3-2214
エチルベンゼン	3.4	100-41-4	1-053	管理番号53	3-28; 3-60
酢酸エチル	10-20	141-78-6	-	-	2-726
トルエン	30	108-88-3	1-300	管理番号300	3-60; 3-2
1,2,4-トリメチルベンゼン	0.9	95-63-6	1-296	管理番号691	3-7; 3-3427
1,3,5-トリメチルベンゼン	0.3	108-67-8	1-297	管理番号691	3-7;3-3427

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

労働安全衛生法・化学物質管理促進(PRTR)法該当成分については、「15.適用法令」を参照下さい。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
 溶剤、シンナーを使用してはならない。
 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

- 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
直ちに医師に連絡する。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合
嘔吐物を飲み込ませてはならない。
医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。
- 応急措置をする者の保護
救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
適切な換気を確保する。
- 医師に対する特別な注意事項
特別な処置が必要である。
5. 火災時の措置
- 消火剤
適切な消火剤
火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし
- 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- 環境に対する注意事項
河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
- 二次災害の防止策
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
- 技術的対策
(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
(火災・爆発の防止)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
- 安全取扱注意事項
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし

衛生対策

- 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。(避けるべき保管条件)
- 日光から遮断すること。
- 安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

- (キシレン(異性体混合物))
作業環境評価基準(2004) <= 50ppm
- (トリレンジイソシアネート)
作業環境評価基準(1995) <= 0.005ppm
- (エチルベンゼン)
作業環境評価基準(2012) <= 20ppm
- (酢酸エチル)
作業環境評価基準(2004) <= 200ppm
- (トルエン)
作業環境評価基準(2009) <= 20ppm

許容濃度

- (キシレン(異性体混合物))
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³
- (トリレンジイソシアネート)
日本産衛学会(1992) 0.005ppm, 0.035mg/m³; (最大許容濃度) 0.02ppm, 0.14mg/m³
- (エチルベンゼン)
日本産衛学会(2020) 20ppm; 87mg/m³ (皮)
- (酢酸エチル)
日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m³
- (トルエン)
日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m³ (皮)
- (1,2,4-トリメチルベンゼン)
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m³
- (1,3,5-トリメチルベンゼン)
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m³
- (キシレン(異性体混合物))
ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)
- (エチルベンゼン)
ACGIH(2021) TWA: 20ppm (上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害)
- (酢酸エチル)
ACGIH(1979) TWA: 400ppm (上気道及び眼刺激)
- (トルエン)
ACGIH(2020) TWA: 20ppm (中枢神経系, 視覚, & 聴覚障害; 女性生殖器系影響; 流産)
- (1,2,4-トリメチルベンゼン)
ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)
- (1,3,5-トリメチルベンゼン)
ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)

特記事項

- (キシレン(異性体混合物))
聴力障害
- (エチルベンゼン)
聴力障害
- (トルエン)
聴力障害

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

- 呼吸用保護具を着用すること。

- 手の保護具
保護手袋を着用する。
- 眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

- 物理状態：液体
- 色：透明
- 臭い：溶剤臭
- 融点/凝固点データなし
- 沸点又は初留点：110.6°C
- 沸点範囲データなし
- 可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：
 - 爆発下限：1.27vol %
 - 爆発上限：7.0vol %
- 引火点：4.0°C
- 自然発火点：480°C
- 分解温度データなし
- pHデータなし
- 動粘性率データなし
- 溶解度：
 - 水に対する溶解度データなし
 - 溶媒に対する溶解度データなし
 - 溶媒の溶解度データなし
- n-オクタノール/水分係数データなし
- 蒸気圧：10Pa(20°C)
- 蒸気密度データなし
- 密度及び/又は相対密度：0.8-1.0g/cm³
- 相対ガス密度(空気=1)データなし
- 粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性
 - 反応性データなし
- 化学的安定性
 - 安定である。
- 危険有害反応可能性
 - 危険有害反応可能性データなし
- 避けるべき条件
 - 避けるべき条件データなし
- 混触危険物質
 - 混触危険物質データなし
- 危険有害な分解生成物
 - 危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

- 急性毒性(経口)
 - [成分データ]
 - (キシレン(異性体混合物))
rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)
 - (トリレンジイソシアネート)
rat LD50=3332mg/kg (計算値)
 - (エチルベンゼン)
rat LD50=3500-4700mg/kg (AICIS IMAP, 2020)
 - (酢酸エチル)
rat LD50=5600mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)
female rat LD50=3280mg/kg (REACH登録情報, Accessed Aug, 2021)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
rat LD50=4300-8642mg/kg (NITE 初期リスク評価書, 2008)

急性毒性(経皮)
[成分データ]
(キシレン(異性体混合物))
rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)
(エチルベンゼン)
rabbit LD50=15400mg/kg (ACGIH, 2011)
(酢酸エチル)
rabbit LD50 > 18000mg/kg (SIDS, 2008)

急性毒性(吸入)
[製品]
区分 3, 吸入すると有毒
[成分データ]
(キシレン(異性体混合物))
vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)
(トリレンジイソシアネート)
vapor: rat LC50=26ppm/4hr (CERIハザードデータ集 97-20, 1998)
(エチルベンゼン)
vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由書, 2020)
mist: rat LC50=55mg/L/2hr (換算値: 27.5mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2015)
(酢酸エチル)
vapor: rat LC50=14640ppm/4hr (DFGOT vol.12, 1999)
(トルエン)
vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
mist: rat LC50=18000mg/m³/4hr (18mg/L/4hr) (MOE 初期評価, 2009)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
mist: rat LC50=4800ppm/4hr (24mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2013)

局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 2, 皮膚刺激
[成分データ]
(キシレン(異性体混合物))
ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)
(トリレンジイソシアネート)
ラビット 非可逆的作用 (DFGOT vol.20, 2005)
(トルエン)
ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
皮膚刺激性 (MOE 初期評価, 2009)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
ラビット (OECD TG 404)中等度から重度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[成分データ]
(キシレン(異性体混合物))
ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)
(トリレンジイソシアネート)
ラビット/ヒト 刺激性 (CERIハザードデータ集 97-20, 1998 et al)
(エチルベンゼン)
ラビット 軽度の刺激 (NITE初期リスク評価書, 2007 et al)
(酢酸エチル)
ラビット 一過性の刺激性, 7日までに全ての反応は消失 (ECETOC TR48, 1998)
(トルエン)
ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
眼刺激性 (MOE 初期評価, 2009)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)
ラビット 軽度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)
呼吸器感受性又は皮膚感受性
呼吸器感受性
[成分データ]
(トリレンジイソシアネート)
cat. 1; DFGOT vol.20, 2005
皮膚感受性
[成分データ]
(トリレンジイソシアネート)
cat. 1; DFGOT vol.20, 2005
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[製品]
区分 2, 発がんのおそれの疑い
[成分データ]
(トリレンジイソシアネート)
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 71, 1999 et al.)
(エチルベンゼン)
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000 et al.)
[IARC]
(キシレン(異性体混合物))
Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない
(トリレンジイソシアネート)
Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない
(エチルベンゼン)
Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない
(トルエン)
Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(キシレン(異性体混合物))
A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない
(エチルベンゼン)
A3(2021): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(トルエン)
A4(2020): ヒト発がん性因子として分類できない
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない
[EU]
(トリレンジイソシアネート)
Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質
生殖毒性
[製品]
区分 1A, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
追加区分, 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
[成分データ]
(キシレン(異性体混合物))
cat. 1B; ATSDR, 2007
(エチルベンゼン)
cat. 1B; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2021; ACGIH 7th, 2011 et al.
(トルエン)
cat. 1A; NITE初期リスク評価書 87, 2006
(トルエン)
cat. add; SIDS(J), Access on Apr. 2012
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 1, 臓器の障害
区分 3, 眠気又はめまいのおそれ
[成分データ]
[区分1]
(キシレン(異性体混合物))
肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓

(トルエン)
中枢神経系
[区分3(気道刺激性)]
(エチルベンゼン)
気道刺激性
(酢酸エチル)
気道刺激性
(トルエン)
気道刺激性
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
気道刺激性
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
気道刺激性

[区分3(麻酔作用)]
(キシレン(異性体混合物))
麻酔作用
(エチルベンゼン)
麻酔作用
(酢酸エチル)
麻酔作用
(トルエン)
麻酔作用
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
麻酔作用
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
麻酔作用

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分1]

(キシレン(異性体混合物))
神経系、呼吸器
(エチルベンゼン)
聴覚器、神経系
(トルエン)
中枢神経系、腎臓

誤えん有害性

[成分データ]

[区分1]

(トルエン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm²/s (40°C)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

(キシレン(異性体混合物))

魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(トリレンジイソシアネート)

魚類 (マダイ) LC50=0.358mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ベイシユリンブ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)

(酢酸エチル)

甲殻類 (ミジンコ) EC50=262 mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=230mg/L/96hr (環境省リスク評価第10巻, 2012)

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006)

- (1,2,4-トリメチルベンゼン)
魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=7.72mg/L/96hr (優先評価化学物質のリスク評価, 2015)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=6mg/L/48hr; 魚類 (キンギョ) LC50=12.5mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2008)
- 水生環境有害性 長期(慢性)
(エチルベンゼン)
甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻, 2015)
(酢酸エチル)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=2.4mg/L/21days (ECETOC TR91, 2003)
(トルエン)
甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2006)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=0.4mg/L/21days (SIAP, 2012)
- 水溶解度
(エチルベンゼン)
0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)
(酢酸エチル)
8 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2009)
(トルエン)
溶けない (ICSC, 2002)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
非常に溶けにくい (ICSC, 2002)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
非常に溶けにくい (ICSC, 2002)
- 残留性・分解性
[成分データ]
(キシレン(異性体混合物))
急速分解性なし (BODによる分解度:39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))
(トリレンジイソシアネート)
急速分解性なし (2,4-TDI のBODによる分解度:0% (既存点検, 2003))
(エチルベンゼン)
急速分解性なし (良分解性; 標準法におけるBODによる分解度 :0% (通産省公報, 1990))
(酢酸エチル)
急速分解性あり (BOD分解度:66, 112, 105%/28day (通産省公報, 1993))
(トルエン)
BODによる分解度:123% (既存点検)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
急速分解性なし (BODによる28日間分解度 : 平均8.7% (METI既存点検結果, 1980))
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
急速分解性なし (BODによる分解度 :0%/14 days (METI既存点検結果, 1980))
- 生体蓄積性
[成分データ]
(キシレン(異性体混合物))
log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)
(トリレンジイソシアネート)
log Pow=3.74 (PHYSPROP DB, 2005)
(エチルベンゼン)
log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)
(酢酸エチル)
log Pow=0.73 (ICSC, 2014)
(トルエン)
log Kow=2.73 (PHYSPROP DB, 2008)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
log Pow=3.8 (ICSC, 2002)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
log Pow=3.42 (ICSC, 2002); BCF=342(Check & Review, Japan)
- 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
- 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし
- その他情報
漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号またはID番号：1263
正式輸送名：塗料又は塗料関連物質
分類または区分：3
容器等級：II
指針番号：128
特別規定番号：163; 367

環境有害性
海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法
引火性液体類 分類3
航空法
引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン

有機則 第2種有機溶剤等

キシレン(異性体混合物); 酢酸エチル; トルエン

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

キシレン(異性体混合物); エチルベンゼン; 酢酸エチル; トルエン; 1,2,4-トリメチルベンゼン;

1,3,5-トリメチルベンゼン

名称通知危険/有害物

キシレン(異性体混合物); トリレンジイソシアネート; エチルベンゼン; 酢酸エチル; トルエン;

1,2,4-トリメチルベンゼン; 1,3,5-トリメチルベンゼン

別表第1 危険物（第1条、第6条、第9条の3関係）

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)

エチルベンゼン

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質

エチルベンゼン(3.4%); キシレン(4.1%); トルエン(30%)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

トルエン(30%); エチルベンゼン(3.4%); トリメチルベンゼン(1.2%); キシレン(4.1%)

消防法

危険物

第4類 引火性液体第1石油類非水溶性液体 危険等級 II(指定数量 200L)

化審法

優先評価化学物質

トルエン; 1,2,4-トリメチルベンゼン; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); トリレンジイソシアネート;

1,3,5-トリメチルベンゼン

悪臭防止法

キシレン(異性体混合物); 酢酸エチル; トルエン

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

キシレン(異性体混合物); トリレンジイソシアネート; エチルベンゼン

有害大気汚染物質/優先取組

トルエン

水質汚濁防止法

指定物質

キシレン(異性体混合物); 酢酸エチル; トルエン

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
Hazard Communication Standard - 2012 (29 CFR 1910.1200)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ及び一般社団法人日本塗料工業会自主基準です。